こんにちは
九度山町議会議員
伊丹俊也です

《連絡先》伊丹俊也
〒648-0101　九度山町九度山747－32
TEL&FAX　0736-26-7382
e-mail　itami_t@mth.biglobe.ne.jp

伊丹俊也活動報告№5　2018年1月9日発行

世論の力で9条改憲を止めよう

「3000万人署名」をあなたも

私たちの暮らしそっちのけで9条改憲に前のめりっておかしくない？

安倍首相が2012年12月に第2次政権を発足させてから5年が経ちました。売り物にしてきた経済政策”アベノミクス”で、大企業や大資産家は株高や円安で大儲けしていますが、地域経済や私たち一般庶民の暮らしは一向に良くなっていません。

安倍政権が今、取り組まなければいけないのは、私たち一般庶民のくらしを良くすることと地域経済を守ることではないでしょうか？しかし、安倍首相がやろうとしていることは、2020年の改憲とそのための今年の国会発議です。日本世論調査会の世論調査（2017年12月実施）で、安倍首相の下での改憲反対が53・1％、改憲の国会論議を「急ぐ必要はない」が67・2％です。国民が望んでいないものを安倍首相の都合で期限をつけて押し付けるということは許されません。

「安倍9条改憲」反対は国民の中の多数派

先の総選挙の結果、自民、希望、維新の改憲勢力は衆議院ではほぼ4分の3に達し、連立与党の公明党も含めると8割にもなりました。しかし、国民の間では、安倍首相の下での改憲に反対する人は半数以上で、賛成を大きく上回っています。

世論の力で「安倍9条改憲」ストップ

この大きな反対世論を前に、改憲勢力は今のところ、安倍首相が昨年5月3日に打ち出した改憲案―自衛隊を憲法9条に書き込む―で合意する見通しや、世論を強行突破する自信を持っていません。

安倍改憲案では、集団的自衛権行使や国際紛争への武力介入など、自衛隊が海外で戦争し、自衛隊員が殺し殺されることが憲法で認められることになります。9条は1項も2項も効力を失い、日本は「いつでも海外で戦争できる国」になってしまいます。私たちが力をあわせて「安倍9条改憲」反対の世論をさらに強く大きなものにすれば、9条改憲の国会発議を出来ないようにすることは十分可能です。

「3000万人署名」にご協力ください

「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」（3000万人署名）は、米国に協力して海外で自衛隊が戦争することになる危険な安倍9条改憲をストップさせるための署名です。日本共産党は「3000万人署名」の趣旨に賛同し、署名運動に参加しています。私、伊丹俊也も署名を集めています。

みなさん。ひとりひとりの声を集め、「安倍9条改憲NO！」を多数派にするために、「3000万人署名」にご協力ください。よろしくお願いします。

世論調査の主な結果

憲法問題への関心	関心がある	25.8%
	ある程度関心がある	46.2%
	あまり関心がない	20.1%
	関心がない	7.1%
安倍首相の下での憲法改正	賛成	39.2%
	反対	53.1%
改憲の国会論議	急ぐべきだ	28.8%
	急ぐ必要はない	67.2%

※日本世論調査会調べ、合計は100％にならない

2018年1月3日「東京新聞」より

日本国憲法 第9条

1. 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

2017年を振り返って

「ヒバクシャ国際署名」を集めています

日本共産党は「ヒバクシャ国際署名」の趣旨に賛同し、署名運動に参加しています。私、伊丹俊也も署名を集めて町内を回っています。九度山町で数十筆の署名を集めています。

核兵器廃絶「国民平和大行進」に参加

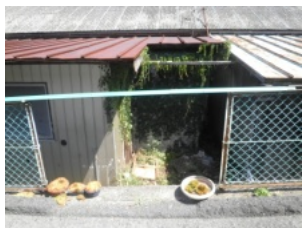
核兵器廃絶を訴えながら被爆地広島まで歩く「国民平和大行進」の集会と行進が、6月3日、九度山町で行われました。町役場前で行われた集会で、日本共産党を代表して私が挨拶しました。集会後、役場前から商店街まで核廃絶を訴え、参加者のみなさんと一緒に歩きました。

アピール行進　左より2人目が私

町民の声を役場に届けています

身の回りの事から地域の要求まで町民からの要望実現に努めています。昨年は「町道に石が散乱していて歩きにくい」、「壊れているフェンスをなおしてほしい」の声を町に伝え、対応していただいています。

町道50号（下古沢・椎出）



梅林住宅フェンス

毎議会必ず一般質問をしています

一般質問以外にも、議案への質疑、採決前の討論などで登壇しました。

●2017年　伊丹俊也の一般質問項目

第1回定例会(3月議会)

①町役場庁舎耐震改修について
②介護保険事業について
③アスベスト調査について
④電力契約自由化について

第2回定例会(6月議会)

①本町の農業振興策について
②定住・移住促進について

第3回定例会(9月議会)

①行政財産の目的外使用と貸付について
②町民の家計消費調査について
③町長選挙における選挙公報発行について

第4回定例会(12月議会)

①第7期介護保険事業計画について
②災害発生時の小中学校施設活用について
③水害・土砂災害への本町の対応について

「町民こそ主人公」の立場で議会改革を訴える

九度山町政の主人公は九度山町民です。その町民の代表の町議会議員で構成される議会を町民から見て何をやっているのかがよくわかる議会にするため、議会改革を訴えています。

●正副議長選挙所信表明の公開を求めて　―6月議会

①選挙前の立候補者の所信表明を公開で行うこと
②所信表明に対する質疑を公開で行うこと
③所信表明と質疑の記録を取ること

●町民に分かりやすい議会運営を求めて　―9月議会

①委員会傍聴を許可でなく公開を原則にすること
②議会の日程と議案、一般質問項目の周知を図ること
③議事録を町ホームページで公開すること
④常任委員会の議事録を作成すること
⑤議会傍聴者に議案書などの審議資料を貸し出すこと

以上のことを書面で議長に申し入れました。賛同者が少なく実現していませんが、今後粘り強く実現を求めていきます。

日本共産党発行
しんぶん赤旗
日　刊●月3497円
日曜版●月　823円

市民と野党の共同を伝える「しんぶん赤旗」
独自の視点でニュースをお届けします
●購読のお申し込みは
伊丹俊也　まで
TEL&FAX　0736-26-7382

★ネットでも情報発信しています。「伊丹俊也」で検索

ブログ開設中
「Good　Morning，九度山」
http://licitami.at.webry.info/